



学校だより

かけ橋

パート III

横須賀市立汐入小学校 校長室

2013. 9. 24

No. 12

元気でやりぬく子  
すすんで学ぶ子  
思いやりのある子

## 異校種間交流

「小1プロブレム」「中1ギャップ」といった言葉を聞いたことがある方は、多いと思います。幼稚園から小学校に入学した時や小学校から中学校に入学した時に、子どもたちに起こる様々な問題を総称して、このように呼んでいます。

そういった問題が、起こらないようにいろいろな取り組みをしています。今回は、その中から、直近の取り組みを二つご紹介します。

9月18日（水）坂本中学校の部活見学がありました。6年生が、5校時の授業終了後、担任に引率されて、出かけました。

子どもたちにとっては、部活ははじめての経験です。自分の経験でも、中学校生活の中心は、部活だったように思います。子どもも大きな期待を持っています。全員が坂本中学校に行くわけではありませんが、少しでも見ておくと、どんなものか想像できると思います。

引率した担任の話では、

「ある程度何部に入るか決めていた子どもも、実際に見たら、いろいろあって、いい意味で迷ったようです。」

昔から、「百聞は一見にしかず」と言います。中学校に入学してからも、体験入部、仮入部等、いくつかのステップを踏んで、自分が3年間打ちこめる部活を決めるのですが、「小学校から見ておく意味は大きい。」と、改めて感じました。

9月20日（金）横須賀幼稚園の園児たちが、小学校のグラウンドで運動会の練習を行いました。

「通常の練習は、園庭や別の公園で行っているのですが、本番は、汐入小の運動場で行うので、本番の前に、予行練習のような形でやらせてもらえないか。」

横須賀幼稚園の方から、お願いされました。

本校でも、通常の体育の授業に影響があるようであれば、お断りするのですが、幸いなことに、本校は、小規模校なので、運動場の使用予定が、いっぱいになっているわけではありません。快くお貸しすることにしました。

当日、中休みが終わる少し前に来校して、日陰に座って待っていました。中休みが終わり、汐入小の子どもたちが、教室に入ると、早速、先生の指示で練習を始めました。

たまたま、職員室からその様子を見ていた先生から、次のような声が漏れていました。

「幼稚園の園児なのに、あんなに難しい技ができるんですね。」

「もう、何をやっても、かわいい。」

「演技の途中で、お尻についた砂をたたいたり、痛そうに走ったりしないのは、日頃からしっかり指導しているからですね。」

子どもの姿を通して、大人も学ぶことがあるのだと実感しました。

これからも、最初に触れたような課題を少しでも解消するために、具体的な取り組みを継続していきたいと考えています。



サッカー一部を見学中



演技が終わって、話を聞く年長さん

# 学力向上、家庭や地域ができること

全国学力・学習状況調査の結果が、先日公表されたので、ニュース等でご覧になった方もいらっしゃると思います。また、6年生の懇談会では、わが子の結果を見ていただきました。そこには、結果を踏まえて今後どうしていくか、子どもなりに考えたことも書かれていたと思います。

しっかりとした学力をつけるのは、学校の責務です。しかし、学校だけではうまくいきません。ご家庭の協力が欠かせません。そのため、懇談会でも保護者の方にお伝えしました。また、6年生の保護者の方だけでなく、全校の保護者の方に理解してほしいと思い、このたよりを書いています。

先日、あるお母さんたちに、「学力を向上させるにはどうしたらよいでしょう？」と尋ねました。

「本人の努力です。自分の経験でも、努力した時に、結果に結びついたように思います。」  
「自己肯定感だと思います。自分のことを大切に思う心があるから、いろいろなことをがんばれるのだと思います。わが子では、なかなかうまくいきませんが・・・。」

「私は、どうやったらやる気が引き出せるか考えながら接しています。お姉ちゃんの時は、そんなことを意識しなくても良かったのですが、弟の方は、なかなか難しいです。」

どれも、とても大切なことだと思います。中には、「去年の学力向上シンポジウム（市教委主催）に参加した時に教わったのですが・・・。」と前置きして話してくださる方もいらっしゃいました。

単純に「塾に通わせる」「ドリルを買ってやらせる」といった話にならなくてよかったと思いました。

学力向上というのと、とかく、算数でいえば、「計算ができるようにするため、反復練習をする」などと考えられがちです。しかし、社会人になって、生きて使える学力は、そのようなものだけではありません。

テストの成績がいかに良くても、生活の中で活用できなければ意味がありません。学校では、現在の学習指導要領で重視されている判断力思考力表現力を伸ばすために、様々な授業を行っています。

それでは、各家庭では、どんなことができるのでしょうか。それは、以前から繰り返し言われている子どもの生活リズムをつくることです。「しっかり食べて、しっかり寝る」心も体も満たされていれば、子どもは、学校でがんばれます。前出のお母さんたちとの話の中で、「子どもにいつも、『生活のみだれは、心のみだれ』と言って戒めています。」という話がありました。その通りと思います。

ご家庭だけでなく、地域の方の協力も必要です。子どもたちの中には、知らない大人の人が相手だと、言いたいことも言えなくなってしまう子どももいます。それでは、社会性が育っているとはいえません。社会性を育てるのは、親以外の大人と関わる機会を意図的に持つことです。地域の様々な行事に参加するのも一つの方法です。

幸いなことに、汐入では、町内会組織が充実しているので、様々な地域の行事があります。6月のお祭り、8月の盆踊り等々、そういった地域の行事に参加することによって、子どもの社会性が自然な形で育まれることと思います。

土日でも、習い事等で何かと忙しいとは思いますが、親子で地域の行事に参加することで得られるものは、大きいと思います。

これから行われる地域の行事は、以下の通りです。詳細は、回覧板等でご確認ください。

## 汐入連合自主防災訓練

10月6日（日）

9時～12時

汐入小学校 校庭